



平和ボケして
いいない
わたし
たち

戦争は、

人が生まれながらにして持っている

当たり前の尊厳である人権を奪うものであり、

平和とはそれを守ることである。

緊張する世界情勢や悲惨なニュースを見聞きして動揺する毎日。

「平和ボケ」は一昔前のことであり、平和を願わざるを得なくなってきている、

そんな状況に現代の日本は置かれていると思います。

今回の調査では、「戦争の対義語としての平和」にフォーカスをし、

生活者の抱える葛藤や困難、心に秘める平和への思いを明らかにしていきます。

Survey Overview

調査対象者 全国の男女15-79歳

回答者数 一般生活者2,000人 | 平和について活動したことがある人200人

割付方法 生活者一般: 令和2年国勢調査の性年代構成比に基づいて割付し、世の中の縮図を再現
平和について活動したことがある人: 平和に関する、メディア発信/教育/啓蒙活動/抗議活動/政策提言/ロビー活動/人道支援のいずれかに主体者・主体団体として関与したことがある人

調査方法 インターネットリサーチ

調査期間 2025年5月16日(金)～19日(月)

調査企画 QO株式会社

調査委託先 株式会社マクロミル

調査内容

- ・平和の点数や平和予想、平和願望・平和に関する事柄の認知や関心、課題認識
- ・平和について学んだ経験や行動していること、ハードルになっていること
- ・平和に関する価値観

Introduction

「日本の平和について点数をつけるとしたら何点ですか？」

そう聞かれたら、あなたは何点と答えますか？

心が痛むニュースも多く、国際社会に緊張感が高まっている昨今。

「日本の平和」について、生活者はどのように評価し、

その理由をどう考えているのか。

そして「今後の日本は平和である」と希望を持つことはできているのか。

2025年に生きる「日本人の平和観」を紐解いていきます。

Part 1

現代の 平和観

日本の平和の点数は：

63.5点 / 100点

10代後半：67.4点

20代：61.7点

30代：59.8点

40代：60.9点

50代：61.5点

60代：66.3点

70代：68.9点

世代別で大きな偏りはみられない。

生活者の声からは「戦争の起こっていない日本は
比較的平和であると思いつつも、
その状況がずっと続く保障がない不安感」
が感じ取れる。

【100点】格差社会であるとは言え
海外から攻められることもなくおし
なべて平和であると思います。
(70代女性)

【100点】自由、人権が守られて
いるから。(60代男性)

【71点】世界的に見れば比較的住み
やすい国だと思っているから。
(15-19歳女性)

【50点】いずれは世界での戦争に
巻き込まれる気がするから、年々治
安が悪くなっている気がするから。
(30代女性)

【45点】中国、ロシア、北朝鮮といっ
た核保有国に囲まれながら、しっか
り対応できていない。(30代男性)

【15点】海外に目を向けていない。
被爆国であることを活かしていない。
(60代女性)

つけた点数とその理由

ポジティブ

ネガティブ

「世界の平和」についても聞いてみると、
「日本の平和」の方が20点以上も高い。

日本の平和の点数

63.5点

世界の平和の点数

38.3点

その他の社会課題と比較しても、「日本の平和」は目立って高い。



今後の日本について、「平和になると思う」と回答する人はわずか1割程度に留まる。

戦争が続く世界情勢による日本もいつ巻き込まれるかわからない不安感で平和になる予想はできない様子。

今後
平和になる
と思う

13.9%

あまり
変わらない
と思う

43.6%

平和でなくなる
と思う

42.5%

【やや平和になると思う】

戦争を回避したいという気持ちを持つ人々が大勢を占めているから。
(60代男性)

【あまり変わらないと思う】

より良くなる未来が想像出来ない。
世界全体がよくなってからじゃないと日本は変わらない。(20代男性)

【あまり変わらないと思う】

世界情勢の悪化、経済的に不安定が続くと思うから。(70代女性)

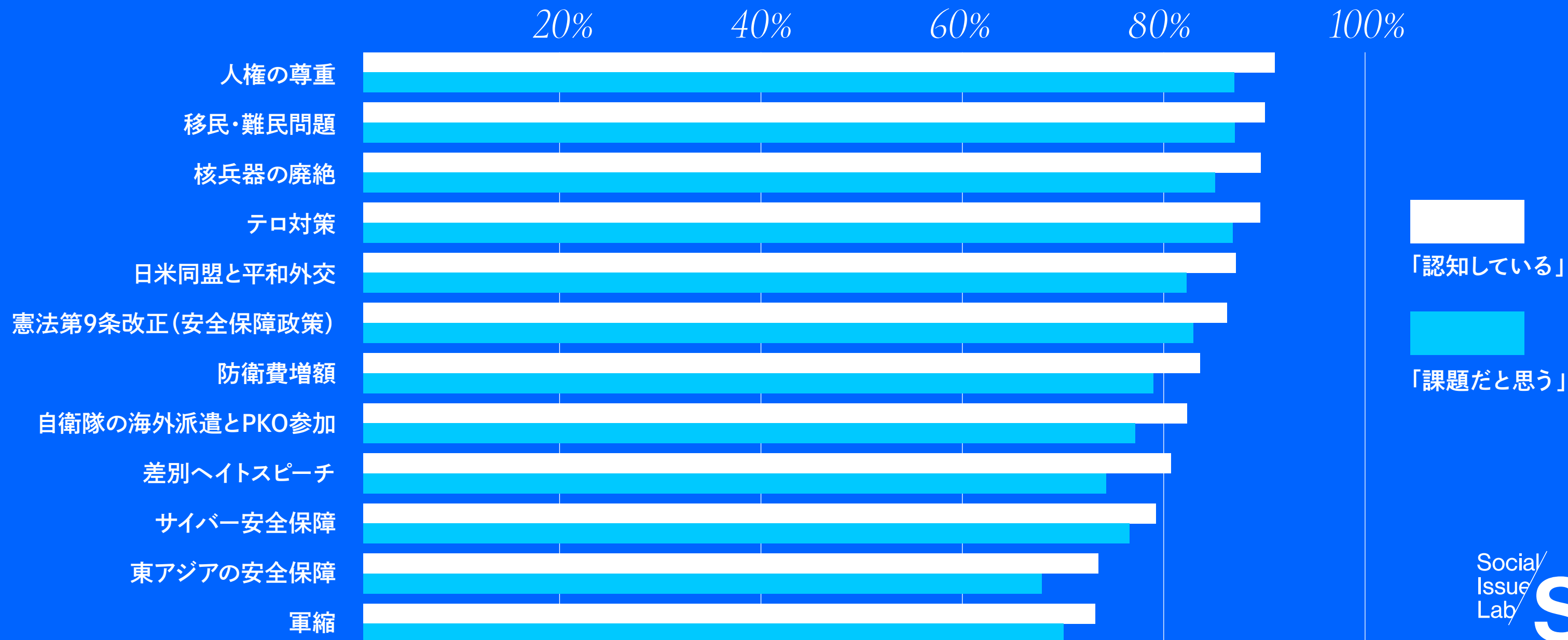
【やや平和でなくなると思う】

戦争に巻き込まれる可能性が以前より高くなってきている。(70代男性)

Part 2

平和を願う思いと
併存するハードル
遠い、実行動

各課題の認知だけでなく、 課題として捉えている割合は軒並み高い。



その一方で、 実行動までの距離は遠い。

平和に関する場所
(資料館や戦跡など)に
行ったことがある

6人に1人
(15.4%)

SNSで平和に関する投稿を
自分から発信したり、他の人の
投稿をシェアしたことがある

23人に1人
(4.3%)

平和活動に
参加したことがある
(デモ活動や署名活動、座り込みなど)

25人に1人
(4.0%)

「ハードルになっていることがある人」は 約8割と、多くの人が難しさを実感している。

金銭面や時間面など物理的なハードルも見られるが、
それ以上に**平和への向き合い方の精神的なハードル**を抱えている様子。

平和について考えたり
行動するにあたって
ハードルがある

78.4%

どんなハードル？



考えても答えが
でないこと

29.6%

自分にできることは
何なのか分からない
23.8%

その他にも無力感、周りの人からの視線/
平和自体へのタブー感、平和について口にすることの
敷居の高さなど、ハードルは多方面に広がる。

平和について、自分ひとりが
行動しても何も影響がない/
できることがないと思う

48.8%

平和は複雑なテーマなので、
専門家ではない自分が発言
することには気が引ける

45.8%

平和について発言・行動する
と、周りの人から変わり者に
見られそうだと思う

35.9%

Consideration

将来の平和を心配に思い、平和にまつわる課題を重要視もする一方で、
平和のために行動をおこすことのハードルが高いことも明らかになりました。

「個人としての無力感」や「平和というテーマ自体のタブー感」、
「口にすることの敷居の高さ」など。

そうしたモヤモヤを抱えているのは自分だけなのか？

言葉や行動にしづらい中で、
一人一人が内に秘めた思いを、もう少し見ていきたいと思います。

Part3



ひっそりと
秘めている

平和への
温かい気持ち

Q.それでは、あなたは今後の「日本」や「世界」が
平和であってほしいと望んでいますか。

平和になる予想はできずとも、
平和を望む気持ちは
もちろん皆が高くもっている。

94.2% / 100%

今後の日本が
平和であってほしいと望んでいる

10代後半:94.0%

20代:88.3%

30代:90.1%

40代:93.2%

50代:93.8%

60代:98.1%

70代:99.7%

一人一人にとっての平和とは。

安心して日々の生活を営めること

明日を不安に思うことなく、毎日生きていられること。空腹や寝る場所の心配をしないで生活できること。(40代女性)

異文化・他者への寛容さ・リスペクト

世界中の人々が国籍や宗教、肌の色、言葉など関係なく、仲良くすること。もし、国同士で喧嘩が起きてしまっても、武力ではなく話し合いで解決すること。(15-19歳女性)

自分と、他人が、それぞれに、優劣や犠牲を伴わずに自由に存在できること。
(60代男性)

子供が付き添いなくして通学している様子。外国人からすると平和ボケと言われようと安心安全が守られていること。基本的に人と人が信用しあっていること。
(70代女性)

目上を敬う 弱者を助ける
ペイ・フォワードのような心
(60代女性)

お互いの考え、文化を否定することなく許容できる世界。
(30代女性)

二度と戦争を起こさないこと

戦争がないことは1番なのだが、戦争に使う兵器、特に核爆弾なんかはしっかり廃棄し、二度と戦争がおこらないようにすることだと思う。(15-19歳男性)

世界から戦争がなくなってどこの国に行っても安心して過ごせたり、友達を作ったり、毎日何かに怖がることなく安心して日々過ごせることだと思います。(50代女性)

「実現してほしいこと・なくなっほしくないこと」としてあがるのは
利己的なことではなく、日本の文化や日本で暮らすたくさんの人への思い。

ただ「当たり前前日常が続いていくこと」を
願っている。

女性が夜で歩いて事件に巻き込まれるかも…と言う心配をせずに生活できるようになる事 (30代女性)

誰もが安心して平穩に暮らせる

子供や孫たちが幸せに暮らしてほしい (50代女性)

それぞれの人が自分に合う場所や生活習慣スタイルで平穩に生きられるようになってほしい。(30代女性)

国同士のいさかいがない

チャットでしか連絡できない友人に会いに行きたい (60代女性)

国境も軍備もない世界 (50代男性)

自由と機会の平等

必要な人に適切な医療が提供されること、すべての子どもたちに適切な教育の機会が与えられること (20代女性)

個人の発言の自由。
住む場所の自由。職業選択の自由。
(60代女性)

これまで紡がれてきた日本の文化

花鳥風月をめぐる心。
虫の鳴く音を「声」と表現する心。
(60代女性)

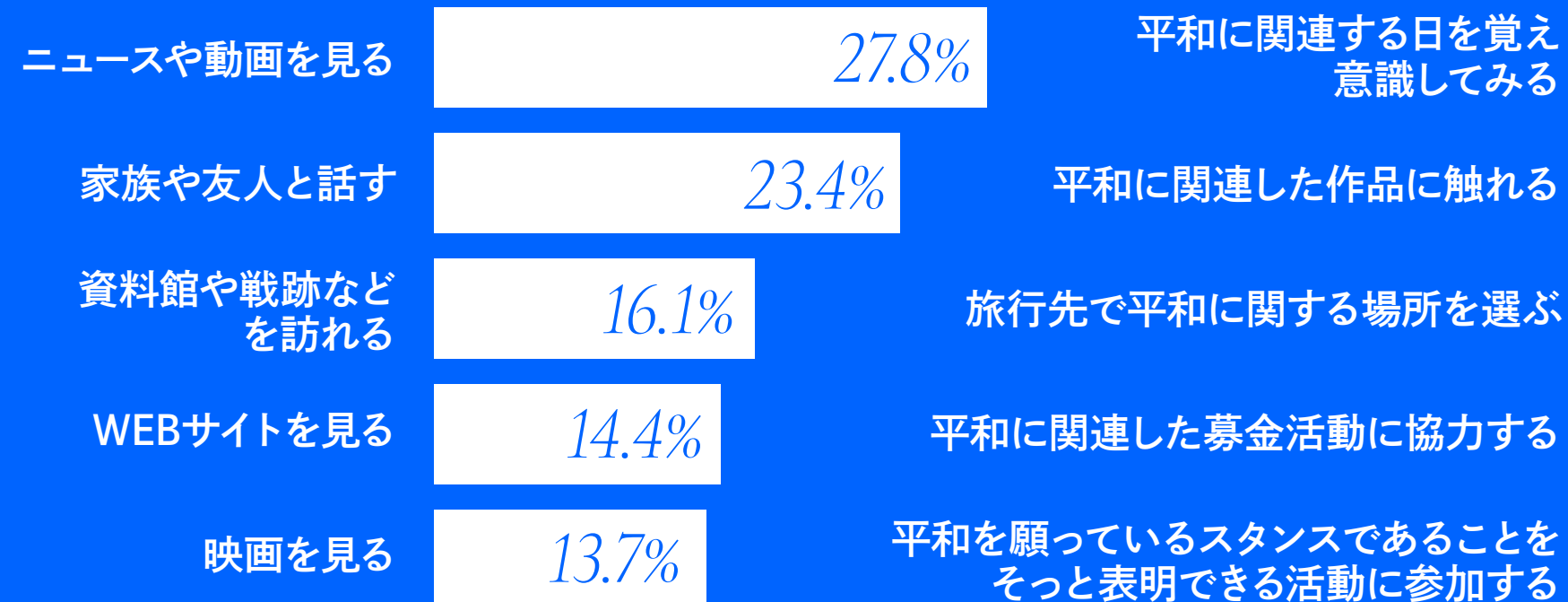
安全な環境

子どもだけで遊んだりできる環境や時間が無くなってほしくない (40代男性)

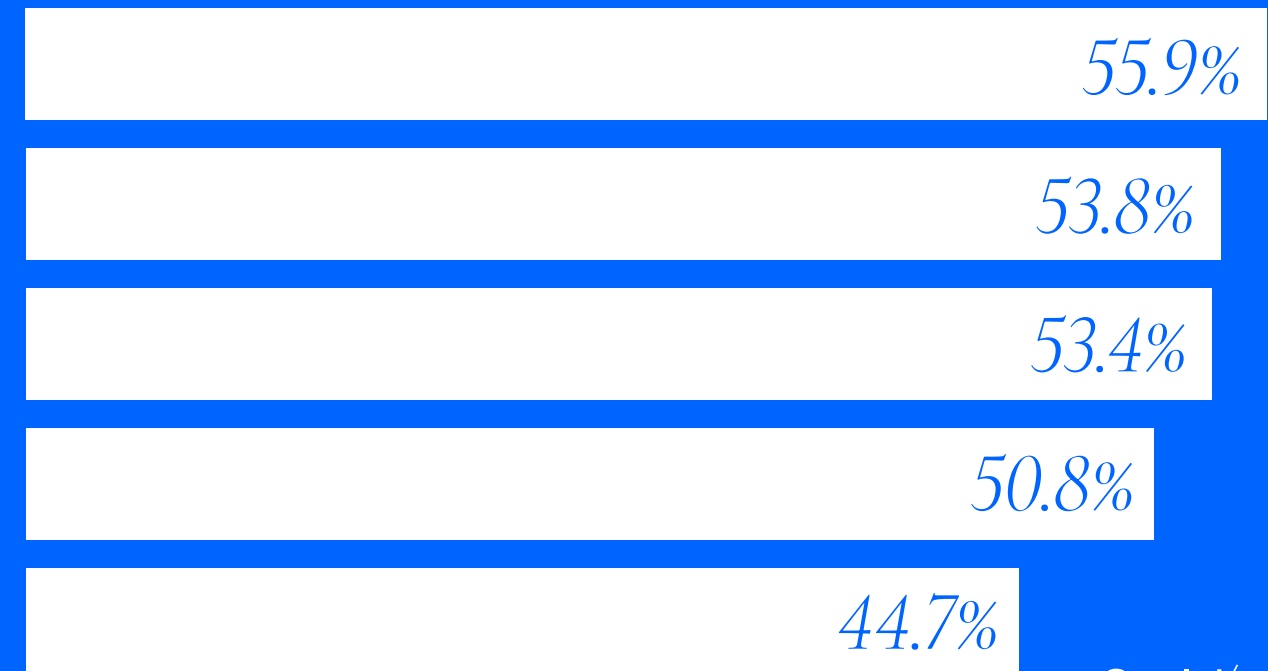
電車で居眠りできること。落とし物が高確率で持ち主の元に戻ってくる事 (30代女性)

自分自身や家族や友人など
身近な人との活動を中心に、
平和行動への意向も少なからず存在している。

今後やりたい平和に関する取り組み



今後やってみたいスモールアクション



Conclusion

ただ、
当たり前の日常が
続いていくこと
を願って。

平和への願いを表明する機会は少なくとも、
「平和であってほしい」と、日本中、皆が同じように思っている。
それはとても希望が持てることだと感じています。
そして皆が望んでいる平和は、利己的なものでも、
突飛なものでもありません。
これまで紡がれてきた日本の文化や、
これから生きていく次の世代に思いを馳せ、
「今の当たり前の日常がどうか続いてほしい」と
心から願っているようです。
戦後80年の節目を迎える今、
わたしたちが「平和」を知り、考え、向き合う。
そんなきっかけにしていけることを願っています。